

平成29年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成29年 4月18日(火)

2 調査対象 第6学年児童22名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語A、国語B 算数A、算数B)

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力)」に関する問題です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語A(主として知識に関する問題)、国語B(主として活用に関する問題)は、ともに、おおむね全国平均と同程度でした。
算数A(主として知識に関する問題)、算数B(主として活用に関する問題)は、全国平均を上回りました。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。
- 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができますか。
- 家で、自分で計画を立てて勉強していますか。
- 家で、学校の授業の復習をしていますか。

課題が見られた項目

- 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。
- 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは、難しいと思いますか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では、「自分の考えをわかるように伝えること」に課題が見られました。本校では今後、次の2つのことについて重点的に取り組んでいきます。

- ・すべての教科の授業で活発な発言を促すために、発表する場を多く設定すること。
- ・自分の考えをまとめる時間を確保し、わかりやすく表現できるようにすること。

6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

- メディア(テレビ・ビデオ・DVD・ゲーム等) 漬けにならない生活習慣づくり
 - ・家庭学習時間の確保
 - ・家庭で読書する習慣作り
 - ・早寝・早起き・朝ご飯の奨励
 - ・地域行事等への参加 等